

大雨・洪水についての注意報・警報(災害のときの危険についてのお知らせ)

大雨や洪水になりそうで危険なときはテレビやラジオで「注意報」「警報」が発表されます。さらにもっと多くの雨がふりそうでたいへんな災害になりそうなときは「特別警報」を発表します。そのときは特に気をつけてください。「注意報」「警報」「特別警報」はテレビやラジオなどで知ることができます

大雨・洪水注意報

災害が起きるかもしれません

大雨 雨がたくさんふって水が家に入ってきたり土が崩れたりする災害が起きるかもしれないときに発表。

洪水 雨がたくさんふったり長くふったりまた雪がとけて川の水が増えてあふれたり堤防が傷ついたり壊れて災害が起きるかもしれないときに発表。

大雨・洪水警報

たいへんな災害が起きるかもしれません

大雨 雨がたくさんふって水が家に入ってきたり土が崩れたりするたいへんな災害が起きるかもしれないときに発表。

洪水 雨がたくさんふったり長くふったりまた雪がとけて川の水が増えてあふれたり堤防が傷ついたり壊れてたいへんな災害が起きるかもしれないときに発表。

大雨特別警報

「警報」よりもずっと危険な状況です

大雨 台風や集中豪雨(一部の場所に)短い時間でたくさん雨がふることにより数十年に一度の大雨になりそうなときに発表。

「洪水」は特別警報はありません。

このほか数年に一度のとても激しい雨がふったときや線状の降水帯によってとても激しい雨が同じ場所でずっとふっているときは気象台から「記録的短時間大雨情報」や「顕著な大雨に関する情報」が発表されます。この情報が発表されたところでは災害の危険が高くなっています。

「特別警報」が発表されないときでもたいへんな被害が起きるかもしれません。

●雨がたくさんふっているときにはテレビやラジオなどで今注意報・警報・特別警報が発表されているか確かめてください。またNTTテレホンサービス「177」や気象庁ホームページ(<http://www.jma.go.jp/>)でも確かめられます。※安城市に注意報・警報が発表されるときは雨量基準値(雨の強さ)などについては気象庁ホームページで知ることができます。

避難の情報や天気の情報で警戒レベルを使ってお知らせします。

避難の情報	避難のお知らせが来たときは次のことをしてください	避難のお知らせ
警戒レベル5	命が危ないです。すぐに自分の命を守ってください! 災害が発生または迫っています。避難所に逃げるのが難しいときは水に浸かりにくい高い場所に移動して自分の命を守ってください。	緊急安全確保 ※2 ※2 必ず発令される情報ではない (安城市が発令します)
《警戒レベル4までに必ず逃げてください》		
警戒レベル4	全員逃げてください! 災害が起これば住んでいる人は家族や近所の人と一緒にすぐに逃げてください。警戒レベル5緊急安全確保の発令が出る前に逃げてください。	避難指示 (安城市が発令します)
警戒レベル3	危ないところからお年寄り(おじいさんやおばあさん)は逃げてください! 逃げるのに時間がかかる人(おじいさんやおばあさん、障害のある人、小さい子ども)と、その人たちを支える人は災害が起これやすい場所からすぐに逃げてください。他の人も早めに逃げ始めましょう。	高齢者等避難 (安城市が発令します)
警戒レベル2	逃げる準備をしてください。ハザードマップを見て避難所や安全なところを調べてください。	洪水注意報 大雨注意報等 気象庁が発表します
警戒レベル1	災害が起きたときのための準備をしてください。	早期注意情報 気象庁が発表します

※1 逃げるための情報は高いレベルを先に発表するかもしれません

防災や天気の情報

発表される情報がどの警戒レベルか

警戒レベル5くらいの情報
 はんらん発生情報
 大雨特別警報 など

警戒レベル4くらいの情報
 はんらん危険情報
 土砂災害警戒情報 など

警戒レベル3くらいの情報
 はんらん警戒情報
 洪水警報
 大雨警報 など

これらは自分たちが逃げるために役立つ情報です。

(国土交通省、気象庁、愛知県が発令)

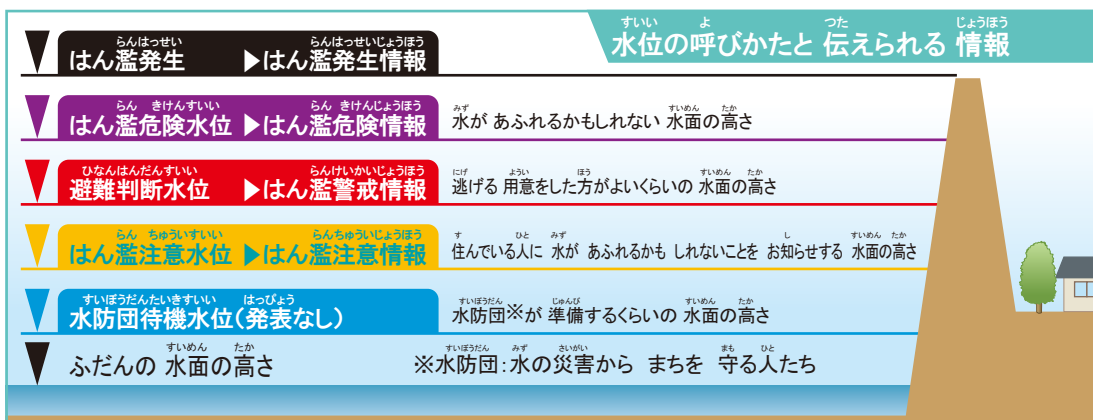
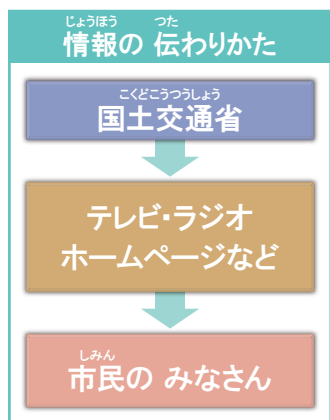
雨の強さとふりかた(1時間にふった雨の量)

やや強い雨 10~20mmよりも少ない 地面の全体に水たまりができて話し声が聞き取りにくいです。雨が長くふりそうときは気をつけてください。	強い雨 20~30mmよりも少ない 土砂降りの雨(強い雨)。傘をさしてもぬれます。小さい川があふれたり、がけ崩れが起きるかもしれません。	激しい雨 30~50mmよりも少ない 激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起これやすくなります。道路規制(道路を通れなくすること)もされます。逃げる用意をしてください。	非常に激しい雨 50~80mmよりも少ない 滝のようにふり、周りが水ぶきで白く見えます。建物の中で寝ている人の半分以上が気づくほどの激しい雨で、多くの災害が起きます。	猛烈な雨 80mmよりも多い 息が苦しく感じるほどの雨です。雨がたくさんふることによりたいへんな災害が起きる可能性が高いので、とても気をつけてください。
---	--	--	---	--

内閣府HP「防災情報のページ」より

● 河川のはん濫発生情報(洪水の情報)

川の水面が 高くなって 洪水が 起こるかも しれないときは 国土交通省から 指定河川洪水予報(指定された川の 洪水の予報)が 発表され テレ
ビや ラジオで みなさんに お知らせします。指定河川洪水予報は 水位名称(川の水の 深さによって 決まっている 名前)と一緒に お知らせします。

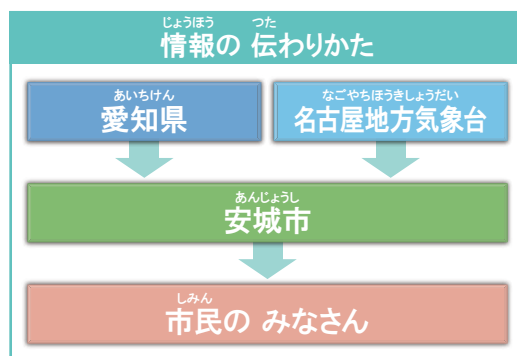


● 土砂災害警戒情報について

土砂災害警戒情報とは 大雨警戒が 発表された後に 土砂災害(地面が 崩れること)が
起こりそうに なったときに 発表する 情報です。

土砂災害警戒情報が 発表されたら 土砂災害に 気をつけながら 市からの 情報
を 確かめて 逃げて ください。また 土砂災害警戒情報が 発表されて いなくても
地面のかたちなどによって 土砂災害が 起こるかも しれません。その他の 防災情
報などにも 気をつけながら 逃げて ください。

※土砂災害警戒情報は 愛知県・名古屋地方気象台から エリアメールでも 送られます。



● 特別警戒が 発表されたら…

土砂災害警戒区域(土砂災害が 起きるかもしれない場所)や 浸水想定区域(大雨や 洪水で 水に浸かるかもしれない場所)では 土砂災
害や 浸水害が もう 起きている 可能性が とても 高く 警戒レベル5(すでに 安全な 避難が できず 命が 危ない 状況)になります。
避難場所に 逃げるのが 危ないときは 水に浸かりにくい 高い場所に 移動して 命を 守ってください。

※今 自分が いるところが 危険かどうかを 気象庁HPなどの「キキクル(危険度分布)」で みることも できます。

特別警戒が 発表されるとき

大雨・暴風・高潮・波浪・大雪・暴風雪

「警戒」よりも ずっと 危ないときは「大雨特別警戒」、「暴風特別警戒」、「波浪特別警戒」などが 発表されます。また「洪水」は 特別警戒
は ありません。

お 起っていること	発表するとき
おお 大 雨	台風や 集中豪雨(一部の場所に 短い時間で たくさん 雨が ふること)により 数十年に一度の 大雨に なりそうなとき。
ぼう 暴 風	暴風(とても 強い 風)が ふきそうなとき。
たか 高 潮	高潮(海の水面が 高くなること)に なりそうなとき。
は 波 浪	高波(海の波が 高くなること)に なりそうなとき。
ぼう 暴 風 雪	数十年に一度の 雪を ふらせる 暴風が ふきそうなとき。
おお 大 雪	数十年に一度の 大雪に なりそうなとき。

※降水量(雨の量)、積雪量(雪の量)、台風の中心気圧(台風の強さ)、最大風速(風の強さ)などについて 過去に 起こった 災害から これからどうなるかを考えて 発表します。